

平成 30 年度 御幸が原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に，児童が自立と共生を果たし，これからの時代を生涯にわたり創造的にたくましく生き抜くための人間力の基礎を培う。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童の健全な成長には，良き人・集団との出会いと，学びの場にふさわしい環境が不可欠であることを踏まえ，教職員が熱意と英知を結集し，家庭・地域と連携しながら活力に満ちた教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1)○児童が教師に安心感や信頼感がもてるよう，多面的な児童理解と認め励ます指導に努める。
- (2)児童がよりよい学級・学校づくりに向けて主体的に活動・活躍する場を，意図的に仕組む。
- (3)分かりやすく，学ぶ(学び合う)楽しさや喜びを実感できる授業実践に努め，学力の向上を図る。
- (4)開かれた学校づくりを推進し，教育効果を高めるため，保護者との関係構築，地域の教育資源の積極的活用，鬼怒地域学校園の小・中学校との連携推進を図る。
- (5)教職員相互の闊達な交流と協働によるチーム力の維持・向上に努める。
- (6)課題意識をもって校務の工夫・改善に努め，学校組織の機能向上と効率化に努める。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自 立 ～より良い判断をし，学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・効果と効率性の両面を踏まえた校務の工夫・改善
- ・積極的な情報発信と家庭・地域・関係機関との連携推進

【 学 習 指 導 】

- ・主体的・対話的で深い学びを追究する授業づくりの推進
- ・個に応じた指導と，学習内容の定着を図る指導の充実

【 児 童 生 徒 指 導 】

- ・自他を大切にし，きまりやマナーを守る児童の育成
- ・よりよい学級・学校づくりへの意欲と行動力を高める指導の充実

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・運動に親しみながら体力の向上を図る指導の強化
- ・健康・安全への意識と実践力の強化を図る指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、<u>児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。</u> ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化 ・学級での活動の充実 ・ふれあい活動の充実 ② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 児童一人一人を見取り、声をかけ、よく話を聴き、よいところは認め、指導すべきところはきちんと指導する。 ・児童の様子を観察し、変化を捉える ・児童の話を聴く姿勢を第一に ② 保護者との連絡・連携を密にして信頼関係を築き、児童理解や児童指導に生かす。 ・学級懇談や学年だより等の活用 ・連絡帳や電話等での連絡・連携		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上	① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。 ・週の目標は行動目標とし、同一歩調で指導にあたる。 ・「みはらのきまり」と「めざせ スーパーみはらっ子」との関連を図る。 ② 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実にしていく。 ・児童の情報交換会や児童指導部会（毎月）の実施		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	○① 学校課題に沿って指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ・学習課題、「めあて」の明確化 ・分かりやすい板書の工夫 ・話し合い活動の充実 ③ TTや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。（5学年～）		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上	① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し（年5回）、気になる児童への教育相談を行う。 ② いじめゼロ強調月間（5月・9月）の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。また、なかよし委員会の活動により、児童の自発的な活動を促す。 ③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だより等で保護者に伝え、連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「私は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	○① 学校評価を踏まえた教育課程を確実に実施し、学校行事・授業参観の実施後、職員間での話し合いや保護者によるアンケート等により、工夫改善を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 学校だより、学年だより、ホームページ等で、必要な情報を積極的に発信する。 ② 「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開日に地域の参加者が多くなるよう地域回覧等で呼びかける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と積極的に連携・協力し、学校運営の充実を図る。 ② 企業や専門家派遣の出前授業、街の先生、学校支援ボランティアを活用した授業を各学年1回以上実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 清掃の行き届いた校内を目指し、清掃活動に力を入れる。 ・学級中心の班での清掃活動 ・清掃用具の後片付けの徹底 ・身支度の徹底や反省の仕方の見直し ② 教室掲示（黒板上）の統一 ③ BGMの効果を教育活動に生かし、落ち着きと潤いのある学校環境に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園各部会・分科会毎に今年度の基本方針を受けた取組の充実を図る。 ・各部会、分科会の進捗状況について情報共有する。 ② 5校連教育講演会や全体研修会の実施により、小中の相互理解を深める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 全体アンケートの「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上	① 学校スタッフと学級担任が役割分担しながら、児童の教材準備や個別の指導・支援・相談の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 全体アンケートの「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上	① 学校スタッフに関連する校務担当教職員が窓口となって児童・保護者・教職員とつなぐことにより、円滑なコミュニケーションと連携が図れるようにする。 ② 打合せや会議等で、各学校スタッフからの連絡・要望を周知し、情報共有を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 学校は、人権尊重及び自他の生命や存在を大切にしている児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「先生は、自分の話や悩み・相談などを真剣に聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。 ・年間1回、授業参観時に道徳の授業を実施 ・年間35時間、道徳の授業の実施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会実施、活用 ② 人権教育を全校体制で推進し、自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努める。 ・教職員対象の人権ワークショップの実施。	【達成状況】 【次年度の方針】
教育活動の状況	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 児童会（あいさつ委員会）が中心となってあいさつ運動を実施する。（毎週火・金曜日の朝実施） ・学校だより・学級懇談会であいさつ励行を保護者に伝える。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用。 ・あいさつ標語・ポスターの募集。 ② 地域連携及び地域学校園で共通課題として、あいさつ運動を展開する。	【達成状況】 【次年度の方針】

		A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 発表の仕方、敬語の使い方等について学年の発達段階に応じた指導をする。 ② 「ふわふわ言葉」「学級で使っていきたい言葉」をもとに、思いやりに満ちたコミュニケーションの醸成を図るとともに、学校だより・学年だより等で保護者に伝える。 ③ 国語・道徳等で正しい言葉遣いについて指導をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B2 児童は、健康に気をつけて生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分の健康に気を付けて生活している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 昨年度の生活についての実態調査をもとに（特に睡眠時間・食生活）、家庭との連携を図り啓発や指導をする。（学年だより等で結果や指導について取り上げる。）	【達成状況】 【次年度の方針】
		A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上	○① 自ら体力作りに励めるように体育や学校行事・特別活動等の工夫に努める。 ・みはらチャレンジギネス ・マッショマンだよりの発行 ・外遊びの励行	【【達成状況】 【次年度の方針】
	健康・体力	A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は好き嫌いなく食べている」。 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上	① 食育の充実を図る。 ・教育相談を活用した個別指導の強化 ・各教科での食に関する指導 ・給食だよりの発行 ・お弁当の日の活用 ・好き嫌い克服メニューの工夫	【達成状況】 【次年度の方針】
		B3 児童は、運動能力向上に向けて自身の体力について考えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、体育の授業などで、自分の記録や技を伸ばそうと努力をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 水泳検定・縄跳び等のカードを有効に活用する。 ② 新体力テストの結果から自身の運動能力向上に向けた能力向上への手立てを教師が提示したり、自分で考えたりする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	学習等	A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中進んで話し合うなど、積極的に学習している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上	① 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。 ・朝の国算チャレンジタイムを活用した学習支援の充実（国語ドリルなど） ・宮っ子ステップアップシートの活用 ○②家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。 ・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用 ・自主学習ノートの活用と啓発と保護者への協力依頼 ③ 話合いの仕方の指導 ・話合いの意図的な設定と工夫	【達成状況】 【次年度の方針】

	A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中話をよく聞くなど落ちて学習している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上	○①基本的な学習態度・技能（聞く・話す）の育成に努める。 ・「話し方」「聞き方」の合言葉を作成し、教室掲示をして活用する。 ② 学びに向かう集団づくりのための学級経営の充実を図る。 ・自由に情報や意見を交換し合う場の意図的な設定 ・他者の考えを尊重し生かし、自分の考えを的確に表現する能力と態度を育成する。 ・クラス目標の掲示とその達成に向けた全員での協力と努力	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 地域清掃等のボランティア活動の場を設定し、児童の地域社会貢献への意欲と行動力を高める。 ・年間5回、学区内の公園清掃 ② 地域行事への参加協力（作品展示・6年合唱等）や周知により、児童が関心を持ち参加するきっかけづくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 児童は、本の楽しさを味わっている。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、読書を楽しんでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 読書意欲の向上を図るための環境・指導の充実を図る。 ・読み聞かせの充実 ・朝の読書タイム ・読書週間の実施（委員会） ・お話会 ・家読のすすめ【親子読書等】 ・読書記録の活用 ・必読図書の充実 ・読書マッチョマンカードなどの多読賞 ・新刊本、お薦め本の紹介 ・市立図書館の活用 ・図書館だよりの発行	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B5 学校は、「自分を伸ばし、仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、『自分を伸ばし、仲間と伸びる児童』を育てるために、児童会活動の活性化に努めている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 児童の発想を生かした児童会活動や、仲間と力を合わせて取り組む学校行事の内容充実を図る。 ・あいさつ運動や地域清掃活動等、児童の発想を生かした委員会活動 ・児童によるスローガン募集と運動会運営 ・児童集会の内容充実 ・募金活動等 ・チャレンジギネス等の活動	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

